



静岡大学ゆかりの会 メールマガジン ～静大探検隊～

「大学ミステリー ～SHIZUDAIの謎に迫る～」

こんにちは！今月のメールマガジンのお時間です。今回は「人文D棟の謎」の続きをお送りします。第三回も前回に引き続き人文社会科学部1年小出陽大がレポートします。

※みなさんさすがにもうお忘れでは無いと思いますが、人文D棟の謎を追う企画の続編、そして最終回です！

前回までの流れは、以下の記事からおさらいしてくださいね！

第一回

[https://p.bmb.jp/bm/p/bn/htmlpreview.php?
i=shizuokakikin01&no=all&m=30&h=true](https://p.bmb.jp/bm/p/bn/htmlpreview.php?i=shizuokakikin01&no=all&m=30&h=true)

第二回

[https://p.bmb.jp/bm/p/bn/htmlpreview.php?
i=shizuokakikin01&no=all&m=46&h=true](https://p.bmb.jp/bm/p/bn/htmlpreview.php?i=shizuokakikin01&no=all&m=46&h=true)

【DAY2】大学の歴史、資料を見てみよう！

【DAY3】静大について、よ～く知るあの方に聞きに行こう！

前回の最後に、静岡大学広報・基金課の松本さんが私たちにある人を紹介してくれた。

松本さん：あの方は昔からこの大学を見てきた人で、みんなに紹介できればとすぐに思いついたんだけど、実は自分もほとんどお会いしたことはない先生なんだ。

小出：松本さんがすぐに思いつくのに、ほぼ会ったことがない先生……？

松本さん：少しアポを取るからちょっと時間をもらおうよ。

～～数か月後～～

松本さん：久しぶりだね。

小出：本当に久しぶりですね。あ、あけましておめでとうございます！

松本さん：すっかり年が明けちゃいましたね、おめでとうございます！それは
さておき、待たせちゃってるので行きましょう！

（一同は理学部B棟1階にある大学文書資料室へ）

一同：こんにちは。今日はよろしくお願いします！

???：こちらこそ、よろしくお願いします。

そこにいたのは……静岡大学名誉教授の山本義彦先生！！

いまの人文社会科学部が人文学部時代に経済学を教え、今も静大史の編纂に携
わる。まさに大学の移り変わりを見てきた先生だ。



▲山本義彦先生…静岡大学名誉教授。人文学部経済学科で教えられ、人文学部長や静大理事・副学長も
歴任。大学の歴史を知り尽くしている先生だ。

小出：（オーラを感じる人だ…）早速ですが、人文E棟についてのお話を伺っ
てもいいですか？

山本先生：もちろん。事前に質問も聞いていたから、最初に一つの結論を話し

てしまいますけど、実は私も正確なことはわからないんですよね。

小出：そうなんですね（笑）

山本先生：私というよりは、建物の管理をする施設課の話だと思うんだけど、施設課にも「なぜ人文D棟が無くE棟があるのか」、これに関わりそうな資料はないんですよね。

小出：そうですね、わざわざこの疑問に関する記録は残ってないですね……。

山本先生：そういうことで、今日話すことは、確かな根拠があるわけではないけれど、私が見聞きしてきたことを踏まえて「こうだろう」という話であることを念頭に聞いてください。

小出：わかりました。ぜひお願いします。



山本先生：まずは静岡大学の歴史の話をしていくんですが、静岡大学はもともと別の場所にあり（現在の静岡市葵区大岩にありました）、今の場所に引っ越してきたときには、まだ（山頂の）人文社会科学部棟の場所はなかったんですよ。

そして皆さんが知りたがっている、今の人文E棟の場所には法経短大専用教室棟がありました。建物の姿は今と同じです。

小出：前回でたどり着いていた通りですね。あ、あらためて私たちが考えた3つの仮説を聞いていただいてもいいですか。

山本先生：もちろん。

小出：ありがとうございます。1つ目は昔、法経短大だったということもあって経済の英単語の頭文字をとってEにした説。

2つ目は、近くの共通教育棟がDまであるのでその続きとしてEにした説。

3つ目は、人文棟が上にA、B、Cとありますが、大講義室をD棟と捉えて、その続きでEにした、というのを考えていたんですけど……

山本先生：うん、まず1つ目は違いそうですね。

ちなみに近くの共通教育L棟のLも不思議ですよ。共通教育A、B、C…でいきなりLですから。

小出：た、たしかに……！！



山本先生：建物の形を逆にしてL字形だからL棟という説がありますが、施設課もそれは考えたかもしれませんが、そうでなくて私が思うに、教養部がそこにあったことや、かつての旧制静高の先生方が一定数教養部の所属にもなっていたんですよ。だからL棟のLは、リバティ、リベラルアーツ（Liberal Arts＝教養）の頭文字から来ているんじゃないかなと。

で、それを踏まえると、関連する語の頭文字をとるだろうから、このルールに当てはめると、現在の人文E棟はかつて法経短大なので、経済のEではなくて、むしろ法＝LawのL棟にしそうですよね。でもそうではない。

小出：な、なるほどです...！では近くの共通教育P棟はどういうことなんですか？。

山本先生：あれは多分、プレハブのPですね（笑）

小出：そこはそうなんですね（笑）



▲山本先生は、1990年代の教養部廃止、法経短大廃止を実際に見てきた先生だ。かつて教員数や学生数の拡大に伴い、経済学科も一度は山頂の人文棟にあったこと（そして教養部廃止により共通教育L棟の部屋が余り、人文棟もいっぱいであったため経済学科がまた下に戻ったこと）など、知られざる大学の歴史・移り変わりについてもたくさん教えてくださいました。

山本先生：そして、2つ目はいったん飛ばして3つ目の仮説に行きますが、順番にアルファベットをつけていくというルールは無くはなさそうです。でも上にある大講義室がD棟というのは少し無理矢理な感じがありますね。

小出：ですよ（笑）。

山本先生：人文の大講義室は、もともと設計の段階から大講義室だったんですよ。人文棟というより、当時は学内に大きな学会や講演会に対応できる場所がなかったので、それらにも対応できるようにという理念もあってできたものなんです。ですから人文学部棟の本来の所要面積（教職員数と学生数の建設直前の数を基準の面積）を拠出して特別に建設されたものです。大学会館が今はありますよね。あれは1990年頃に建設されたので、状況は多少変わったようですが、現在も大講演会が開催されるときは、やはり人文大講義室が使用されています。

小出：それは知らなかったです。

山本先生：そう、だから3つ目の仮説は違うかなと。そこで2つ目の仮説ですね。私もこれが一番有力な説だと思います。

小出：キタ！！

山本先生：施設課が管理している以上、管理のしやすさっていうのは大事だと思います。

そこで場所が近いからという理由で共通教育棟の順番のまま管理するというのは、わかりやすさからしてもありそうです。人文E棟はエリア的にも共通教育棟の管轄に含まれるはずなので。

小出：おお！

山本先生：ということで、私からは共通教育棟の流れで見ているのではないかなというのを結論にさせていただきます。

小出：まさか自分たちが考えた仮説の中にあるとは。

山本先生：それにしても、君たちこんなことを考えてくるなんて、面白いな～と思いましたよ。

大学は学生がアグレッシブになっていい場所だと思っているので、これからも頑張ってください。大学は学生が主役の場所ですから。

小出：ありがたいお言葉です。精進します！もっと面白い静大ネタも探していきたいです！！



▲最後に記念撮影。山本義彦先生、本当に本当にありがとうございました！！

これにて大学ミステリー「人文D棟の謎」編は完結！
お楽しみいただけただしょうか？

人文棟の名前について、A,B,C,E棟はあるのにD棟がないという疑問から、人文E棟の成り立ちに踏み込んだ結果、おそらく人文D棟となるはずの建物が、管理の観点から人文E棟となり、結果としてDが抜けているように見える、と一定の結論を得ることができました。

僕たちも大学の新たな一面を知れて面白かったですし、山本先生にもお会いできて、分厚い大学の歴史に一步踏み込んで触れられた気がします。

あ、静岡大学文書資料室について、みなさんもぜひのぞいてみてくださいね！
<https://www.shizuoka.ac.jp/archives/>

これからも我々は大学の謎を追い求めて続けます！（他にもあるのかな？笑）
それではまた～！！

静岡大学ゆかりの会では、会員の皆さまからの情報提供、ご感想等をお待ちしております。

情報提供、ご感想等はこちらから

ー リンク一覧 ー



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンを無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から